

継続的な新卒採用による現場力育成と共に 倉庫、専用機械活用による効率化を推進

名神高速栗東ICと国道1・8号線の結節点に営業倉庫7棟(総所管面積約15,000坪)の物流拠点を所有(普通倉庫4棟、低温倉庫3棟)。低温倉庫では地域資源である近江米等を保管し、また、物流総合効率化法の認定倉庫もあり、緊急災害時の広域物資拠点施設としての機能も有しており、滋賀県にとって必要不可欠な存在。また、倉庫業のみならず、国内輸送、通関業、保税蔵置場、海上コンテナ輸送、輸出梱包等幅広い物流サービスを提供し、顧客の物流最適化をサポートしている。

- | | | | |
|---------|---|-------|----------|
| ●所在地 | 滋賀県栗東市高野588番地 | ●設立 | 1946年 |
| ●電話/FAX | 077-552-4511/077-553-5109 | ●資本金 | 10,000万円 |
| ●URL | http://www.asanowarehouse.com/ | ●従業員数 | 50人 |
| ●代表者 | 代表取締役社長 浅野邦彦 | | |



継続的な新卒採用、現場力育成による付加価値向上

高齢化、人手不足等の課題が叫ばれているなか、倉庫業・運送業においては品質管理や荷物の積下ろし等機械化・自動化できない業務があり人手を要する。しかしながら、同社は1つの敷地に7棟の倉庫を集約していること及び社員の臨機応変な連携(現場力)により、少数での運営を可能としている。また、不況時であっても新卒者の採用を継続してきた結果、社員の平均年齢は約33歳と業界平均より若い。経験のある人材と若い人材を融合することで現場力を高め、商圏の拡大に取り組んでいる。



「地の利」と「器の利」で滋賀の物流を担う

倉庫集約、トラックヤード確保、専門技術取得、専用機械活用

同一敷地内の利点を活かし、状況に応じてリアルタイムに人員を集中させる最適な人材配置を実現している。加えて、同社敷地内(約20,000坪)には広範なトラックヤードを確保しており120台以上駐車可能。結果として、迅速な入出庫ならびに待ち時間の少ない効率的な運用へつながっている。また、米穀専門の保管技術を専任スタッフに身につけさせていること及び専用プラスチックパレットと専用リフトを導入し、低温倉庫の保管業務効率化と政府備蓄米や近江米の産地として、「食の安全」を守っている。



徹底した温湿度管理で安心安全の品質

チャレンジシステムによる連携力・現場力強化

おおむね入社10年目の若手を対象にした「チャレンジシステム」がある。部長会議において対象の若手を選考し、対象者に責任者の管理業務を任せることで、責任者の立場・目線での業務経験を積み、人の上に立つ事の難しさを感じながら、達成感や成功体験からモチベーション向上につなげている。また、上司は指示される側の立場に戻る事で、部下の気持ちを再認識出来る。結果として、上司部下の相互理解が深まるとともに連携力の強化につながり、少数精鋭で最大の能力を発揮できる体制となっている。



チャレンジシステム期間中の責任者と若手